

FPG

Financial Products Group

We're true professionals

**2020年9月期
第2四半期連結決算説明資料
(2019年10月-2020年3月)**

株式会社FPG

(東証第一部・コード:7148)



	(ページ)
◆業績の総括	
ハイライト	3
コロナウイルス感染症への対応	4
航空会社の経営破綻に関する影響	5
通期業績予想の修正	7
配当方針の変更/配当の修正	8
コア事業 リースアレンジメント事業	9
多角化事業	15
新規事業への取り組み	18
販売ネットワーク	19
◆ご参考	
損益計算書/貸借対照表	21
外部指数への選定	23

業績の総括



- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、顧客の出資判断が慎重になっていることを主因に減収減益となり、今後もその影響が続くと考えられるため業績予想を下方修正^(P7参照)
- ◆ Air Mauritiusの経営破綻にともなう会計処理を2020年9月期第2四半期に反映^(P6参照)
- ◆ 配当予想は引き下げも予想配当性向は85.8%^{※1}、自社株買い20億円実施^(P8参照)

(単位：億円)

	2019年9月期 第2四半期(累計)		2020年9月期 第2四半期(累計)			2020年9月期 5/13修正 通期予想 ^{※2}	進捗率
		対売上高比		対売上高比	対前年 同期比増減		
売上高	112.5	100.0%	82.9	100.0%	▲26.3%	132.0	62.9%
リースアレンジメント事業	96.8	86.1%	70.0	84.5%	▲27.6%	110.0	63.7%
多角化事業	15.6	13.9%	12.8	15.5%	▲17.9%	22.0	58.5%
売上総利益	92.2	82.0%	61.9	74.6%	▲32.9%	-	-
販売費・一般管理費	30.4	27.0%	30.6	36.9%	+0.7%	-	-
営業利益	61.8	54.9%	31.3	37.7%	▲49.4%	40.0	78.3%
経常利益	56.7	50.4%	32.1	38.8%	▲43.3%	44.0	73.1%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	39.3	34.9%	22.1	26.7%	▲43.7%	31.0	71.4%
出資金販売額	710.2	-	566.3	-	▲20.3%	950.0	59.6%
組成金額	3,847.3	-	1,245.8	-	▲67.6%	2,520.0	49.4%
1株当たり配当金(円)	-	-	-	-	-	30.00	-

※1 予想配当性向は、2020年4月21日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に基づく自己株式取得の影響については未反映

※2 2020年4月21日公表した修正通期業績予想を変更

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、組成面・販売面への影響が継続することが予想されるため、より慎重な業務運営を実施

手元流動性について

- ・ 2020年3月末時点の連結ベースで250億円超の現預金を保有

リースアレンジメント事業について

<組成面への影響と対応>

- ・ 航空需要の減退等により賃借人の航空機への設備投資は減少
- ・ 賃借人の与信審査の厳格化により今後の組成案件をより選別しつつ、組成条件を改善する取り組み併せて実施

<販売面への影響と対応>

- ・ 景気の先行きや賃借人の信用力に対する不安感から、顧客の慎重な出資スタンスが継続する可能性があるが、既存顧客を中心に販売を推進

在庫について

- ・ リースアレンジメント事業は販売の状況を見極めながら慎重な組成を行うことで引き続き在庫のコントロールを継続
- ・ 不動産事業は在庫完売(再販物件を除く)のため、当面の間、新規組成は慎重に対応

- ◆ 2020年3月以降、下記の航空会社6社が経営破綻に該当
組成実績がある案件については、関係者と協議の上、適切な対応策を検討

今後新たに、開示すべき事実が発生した場合には、速やかに公表予定

2020年5月11日現在

組成実績なし

時期	航空会社名	本社	状況
2020年3月	Flybe	イギリス	破産申請
2020年4月	Virgin Australia	オーストラリア	任意管理手続き入り [※]
	Braathens Regional Airlines	スウェーデン	破産申請
	Luftfahrtgesellschaft Walter	ドイツ	任意管理手続き入り [※]

組成実績あり

時期	航空会社名	本社	状況	当社 組成実績
2020年4月	Air Mauritius	モーリシャス共和国	任意管理手続き入り [※]	1機、未販売
2020年5月	Avianca Holdings S.A.	コロンビア共和国	Chapter11申請 [※]	1機、完売済

会計処理については、P6参照

※ 任意管理手続き入り及びChapter11申請は、日本の民事再生法に相当し、経営再建を目指す法的手続き

- ◆ Air Mauritiusに関する保有在庫につき、商品の販売を当面行わないため、該当するSPC(特別目的会社)3社を連結子会社化する会計処理を2020年9月期第2四半期の決算にて実施

(1)貸借対照表への影響

SPC3社の連結子会社化により、主要な資産および負債を計上

主要な資産：販売用航空機166億円

主要な負債：借入金(ノンコースローン)135億円

(2)損益計算書への影響

販売用航空機にかかわる商品出資金評価損5.2億円を売上原価に計上

関係者との協議により、今後新たに、開示すべき事実が発生した場合には、速やかに公表予定

- ◆ Avianca Holdings S.A.のChapter11申請の影響については、該当する商品が販売済となるため、業績に関する影響はないものの、投資家に最善な対応策を検討

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、リースアレンジメント事業における販売が停滞
- ◆ 多角化事業は、主力である不動産事業が在庫完売(再販物件を除く)となるも、当面の間、新規組成は慎重に対応することから通期の販売計画を引き下げ

(単位：億円)

	当初 上期予想	上期実績	差額	増減率	当初 通期予想	修正 ※ 通期予想	差額	増減率
売上高	123.2	82.9	▲40.3	▲32.7%	243.1	132.0	▲111.1	▲45.7%
リースアレンジメント事業	108.7	70.0	▲38.6	▲35.5%	214.5	110.0	▲104.5	▲48.7%
多角化事業	14.5	12.8	▲1.6	▲11.6%	28.6	22.0	▲6.6	▲23.1%
営業利益	72.4	31.3	▲41.1	▲56.8%	140.4	40.0	▲100.4	▲71.5%
経常利益	73.0	32.1	▲40.9	▲56.0%	144.9	44.0	▲100.9	▲69.6%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	50.5	22.1	▲28.4	▲56.2%	101.0	31.0	▲70.0	▲69.3%
出資金販売額	-	-	-	-	1,793.9	950.0	▲843.9	▲47.0%
組成金額	-	-	-	-	4,382.2	2,520.0	▲1,862.2	▲42.5%

※4/21に発表した修正通期予想にAir Mauritiusに関する保有在庫についての会計処理を反映

- ◆ 2020年9月期の配当方針の変更および配当予想の引き下げを実施
- ◆ 株価適正化の観点から自社株買いを20億円実施

配当方針の変更

ROE 30%程度 → 10%程度
DOE 15%以上 → 8%以上を目指す配当方針

1株当たり配当金について

2020年9月期当初予想
60.1円(連結配当性向 52.7%) → 修正予想 30.0円(同 85.8%)[※]

自社株買い

20億円実施

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、2月以降の販売が急速に停滞したことに加え、手数料率の低下もあり前年同期比で減収

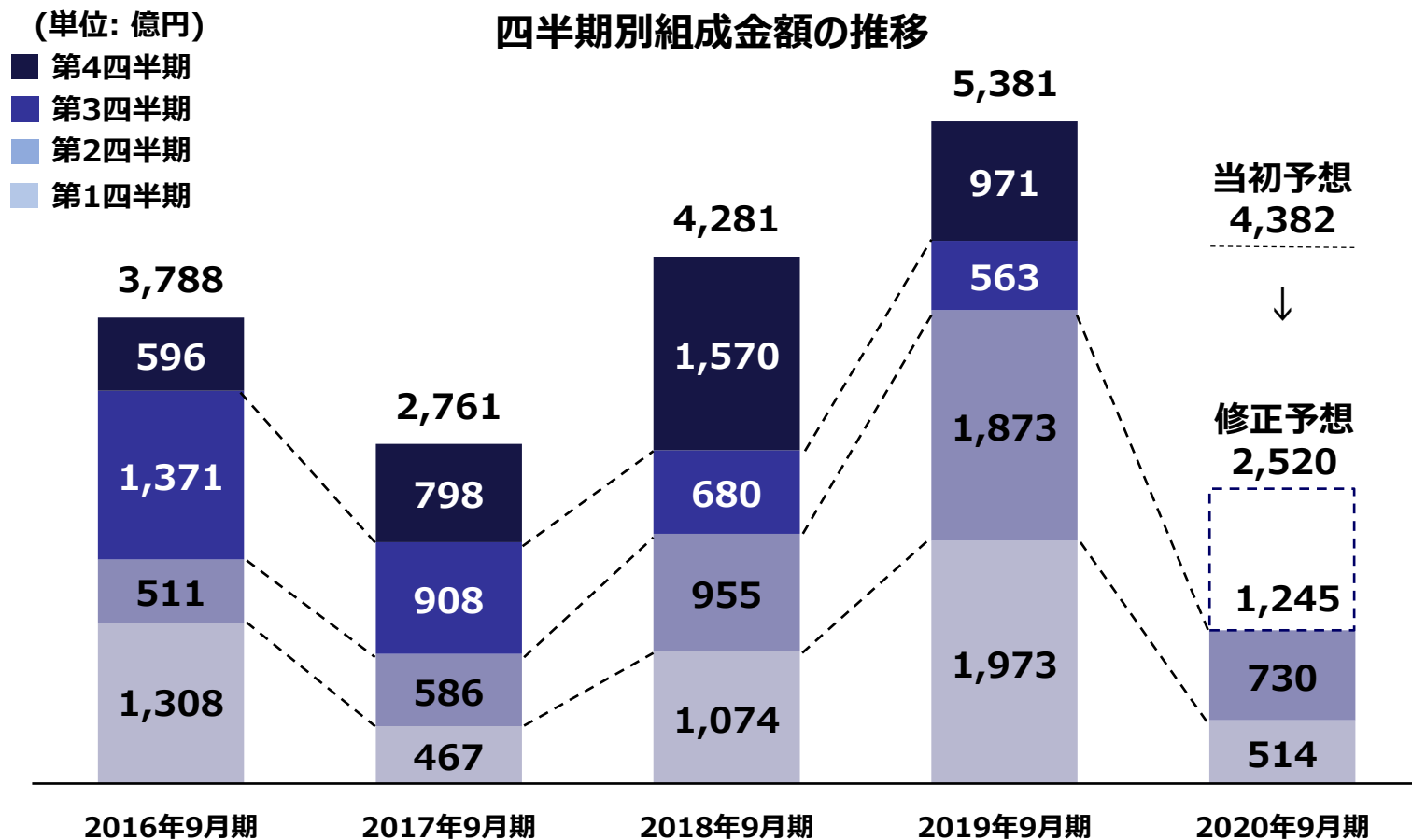
(単位：億円)

		2019年9月期 第2四半期(累計)		2020年9月期 第2四半期(累計)		対前年 同期比 増減
リースアレンジメント事業売上高		96.8		70.0		▲27.6%
出資金 販売額		710.2	構成比	566.3	構成比	▲20.3%
	航空機	325.6	45.8%	284.1	50.2%	▲12.7%
	船舶	315.1	44.4%	207.5	36.6%	▲34.2%
	コンテナ	69.5	9.8%	74.7	13.2%	+7.4%
手数料率 (売上高/出資金販売額) ※1		15.6%		12.9%		-
組成金額		3,847.3		1,245.8		▲67.6%
商品在庫 ※2		1,309.8		878.5		▲32.9%

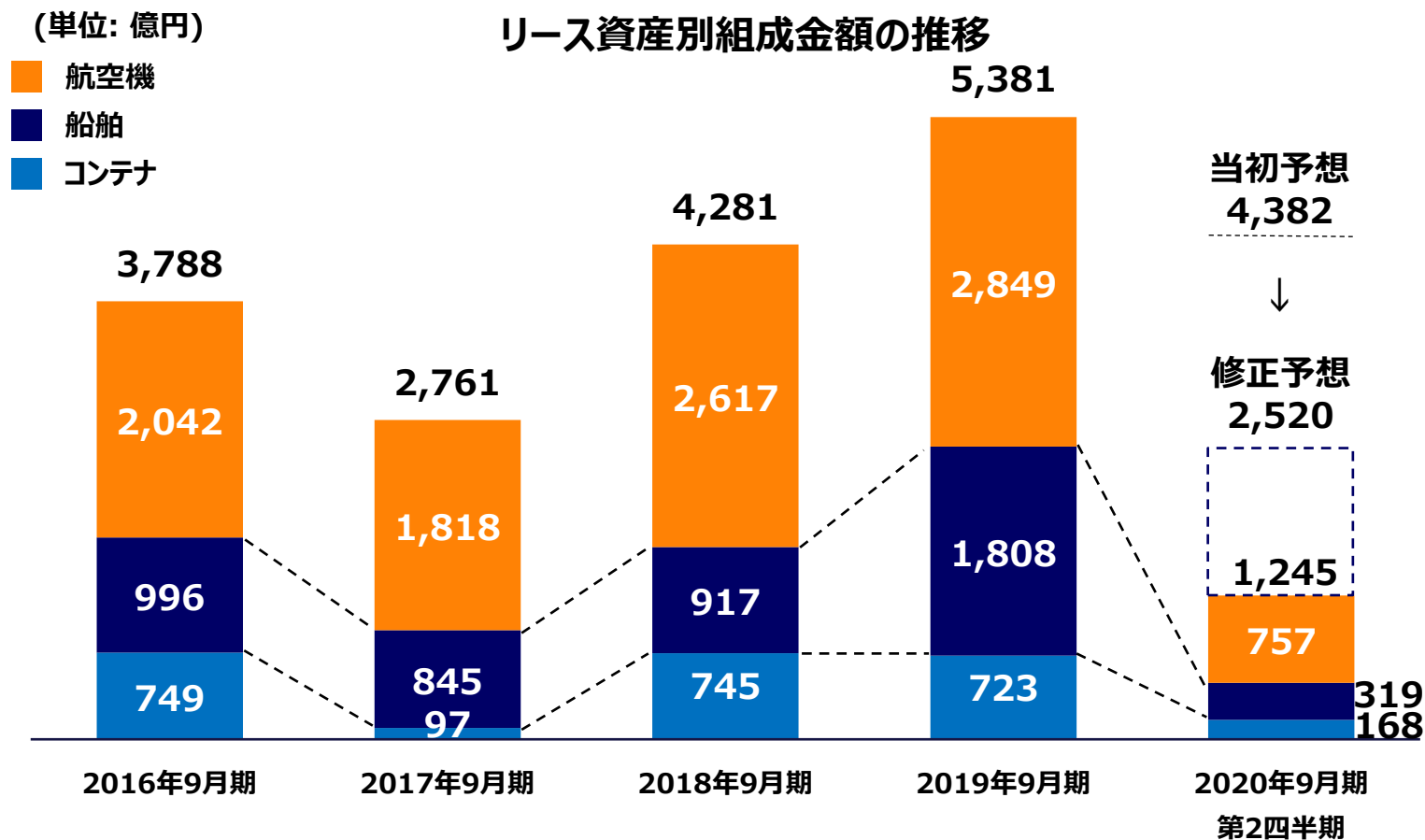
※1 手数料率：匿名組合契約のフルエクイティ案件および信託案件の出資金販売額を34%で換算

※2 商品在庫：商品出資金および金銭の信託(組成用航空機)の合計

◆新型コロナウイルス感染症の影響により、航空業界を取り巻く環境が大きく変化しており、組成を慎重に行う必要があることから、通期予想を下方修正



- ◆ 従来より航空機に過度に依存しない組成を行っており、今後もリース資産のバランスを意識して組成を行う方針
- ◆ 第2四半期累計の組成金額1,245億円のうち、航空機を対象とする組成は6割、大手リース会社経由を除いた直接航空会社が賃借人の組成は5割以下に留まる

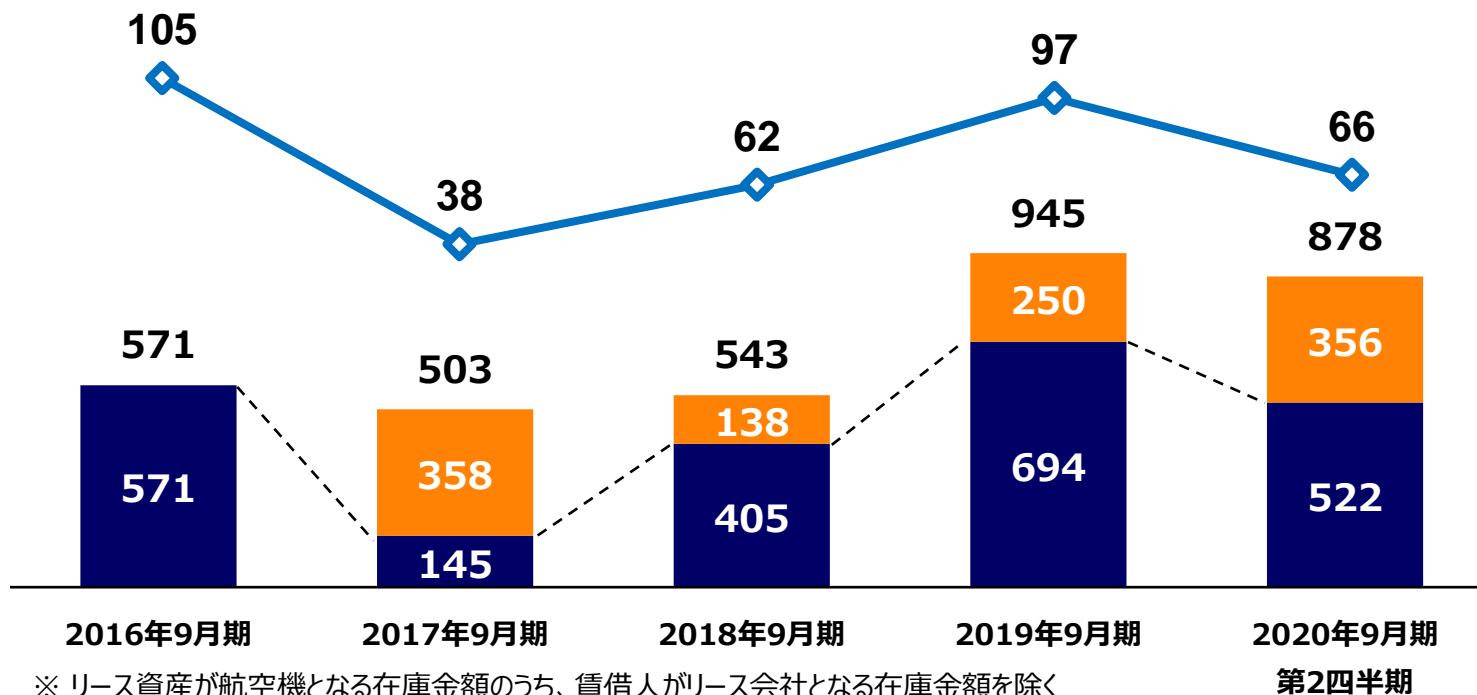


- ◆ 販売の状況を見極めながら慎重な組成を行うことで、在庫のコントロールを実施
- ◆ 2020年3月末のJOLCOの在庫金額のうち、賃借人が直接航空会社となる在庫金額は[※]4割程度に留まる

(単位: 億円)

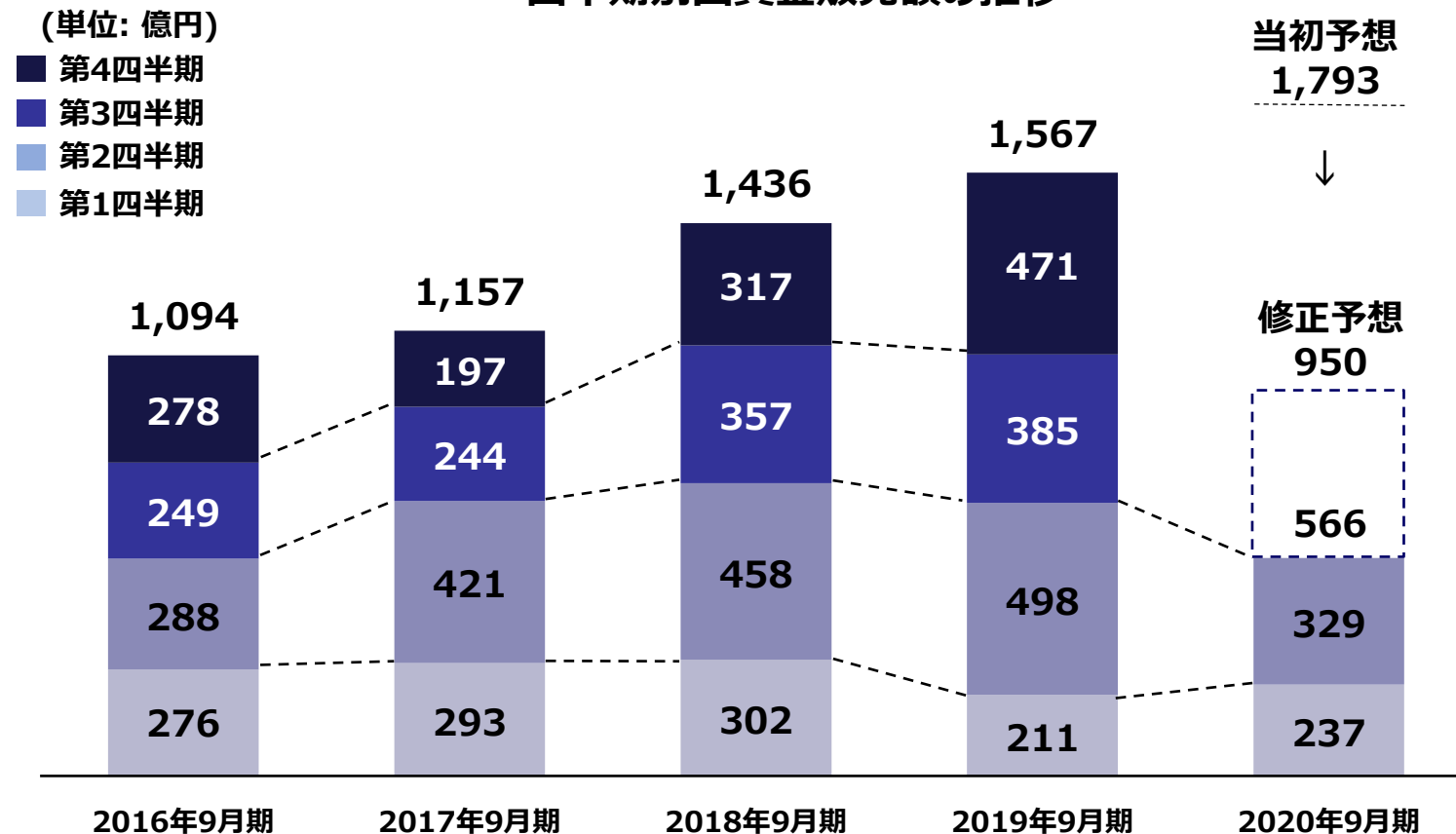
在庫金額および前受金の推移

- ◇ 前受金の推移
- JOLの在庫金額
- JOLCOの在庫金額



◆新型コロナウイルス感染症の影響による販売の停滞を考慮し、
下期は前年同期比50%弱の出資金販売額を見込むことから、通期予想を下方修正

四半期別出資金販売額の推移



- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、大口シングルインベスター向けの販売の停滞が予想されるため、第3四半期以降の組成については、慎重に対応する方針

JOLの組成・販売実績の推移

会計年度	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期 第2四半期
組成実績	3機	15機	4機	11機	3機
販売実績	5機	4機	12機	8機	1機
販売実績 (うち信託受益権方式)	-	(2機)	(7機)	(5機)	(0機)

(参考) JOLCOとJOLについて

JOLCO :リース満了時に、リース資産の購入選択権(Call Option)が賃借人へ付与されている取引
出資金を小口化し、販売。出資金販売額の約8割がJOLCO(2019年9月期実績)

JOL :購入選択権(Call Option)が付与されていない取引
大口シングルインベスター向けの販売が中心

◆多角化事業は、保険事業で大幅減収も、不動産事業と投資管理サービス事業の増収により、減収幅は2割未満に留まる

- 不動産事業は、2月に組成した表参道の案件が販売開始後、即完売になるなど販売が堅調
- 保険事業は、昨年度の税制改正に伴う需要のさらなる後退に伴い、売上高が減少

多角化事業の売上高 ※1

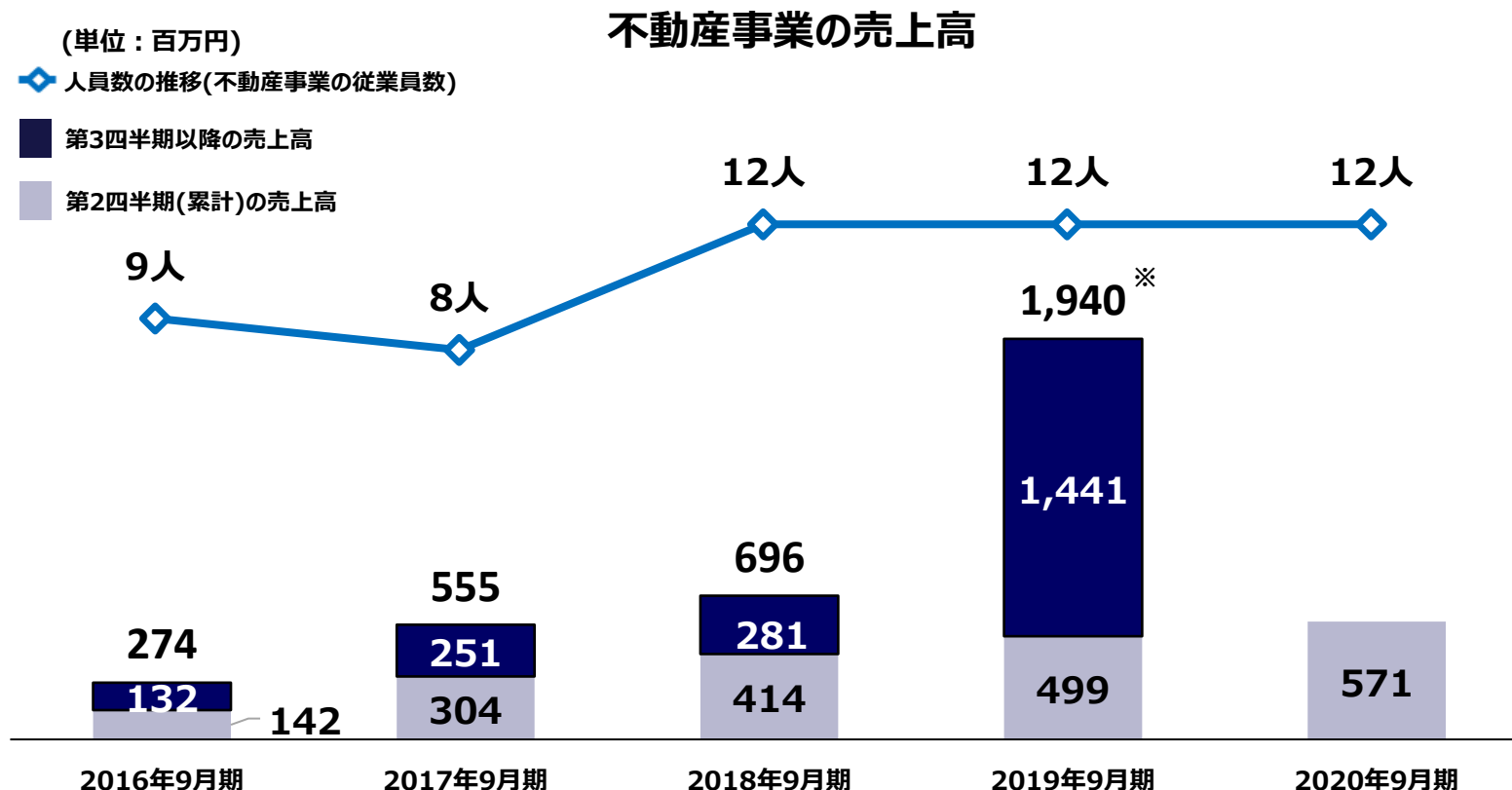
(単位：百万円)

	2019年9月期 第2四半期(累計)		2020年9月期 第2四半期(累計)		対前年 同期比 増減
		対 売上高比		対 売上高比	
連結売上高合計	11,253	100.0%	8,296	100.0%	▲26.3%
多角化事業売上高合計	1,567	13.9%	1,287	15.5%	▲17.9%
不動産事業	499		571		+14.4%
保険事業	762		177		▲76.8%
M & A 事業	32		45		+39.3%
投資管理サービス事業等 ※2	273		493		+80.7%

※1 多角化事業の売上高とは、当社の主要事業であるリースアレンジメント事業以外の事業の売上高を総称するもの

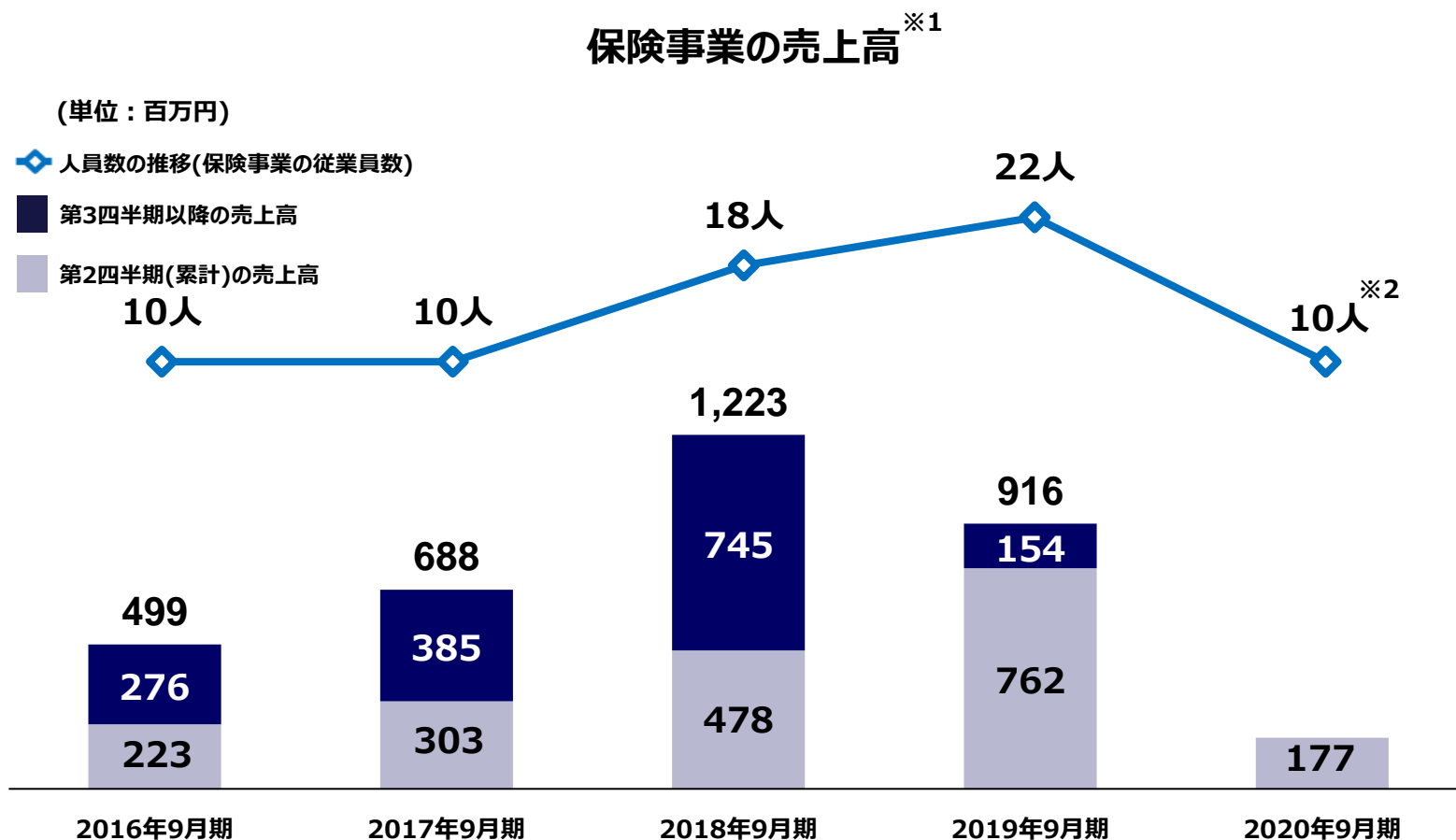
※2 投資管理サービス事業等とは、海外関係子会社の投資管理サービス事業、プライベート・エクイティ事業、証券・信託等の国内関連子会社の事業を総称するもの

- ◆ 不動産小口化商品は、第2四半期累計の売上高が過去最高を達成するなど販売が堅調
- ◆ 在庫が完売(再販物件を除く)になるも、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当面の間、新規組成は慎重に対応
- ◆ FPGホテルオーナーズ京橋のオペレーターであったファーストキャビンの破産手続きの申し立てによる当社事業への影響は既に販売済みであるため軽微だが、投資家のため万全な管理を行う



※ 2019年9月期は1棟販売に関する手数料換算を含めた売上高

- ◆ 保険事業は、昨年度の税制改正に伴う需要のさらなる後退を踏まえ、2019年10月に続き、2020年4月に保険担当者の一部をリースアレンジメント事業の営業人員への配置転換を実施



※1 保険会社等より受領する手数料収入(保険仲立人と保険代理店の売上高の合算)

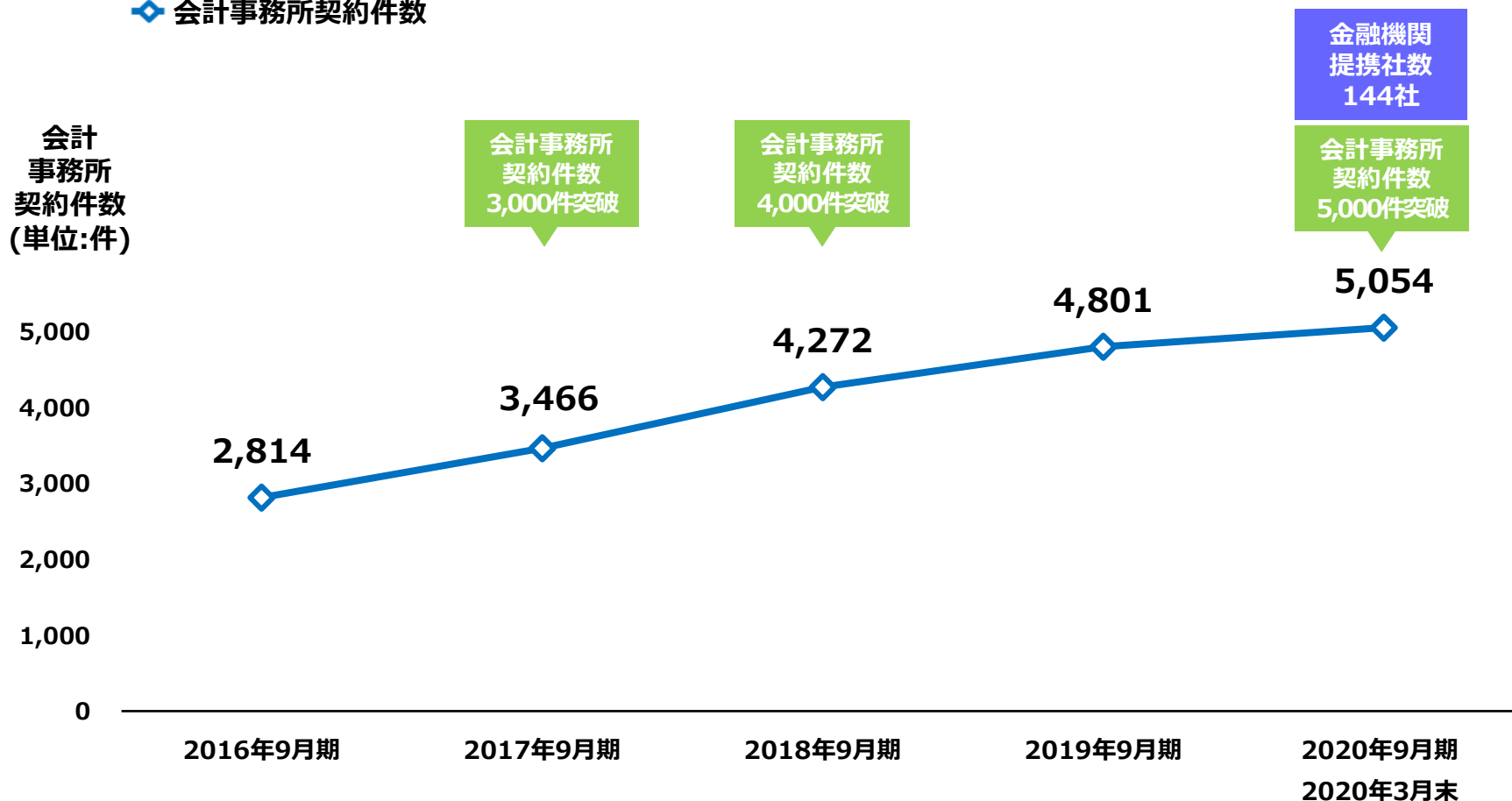
※2 2020年4月1日現在の人員数

株式会社ケンファーストの買収

- ◆ 2020年4月に株式会社ケンファーストを連結子会社化
フィンテックビジネスを推進すべく、同社のIT技術を活用し、
積極的に経営資源を投入
 - 金融商品のデジタル化等に向けた先端技術の調査・研究
 - F P Gグループにおける業務のデジタル化（業務効率化）の促進
 - 販売ネットワーク・投資家向けITソリューションの提供

- ◆ 2020年3月末付けで、会計事務所との契約件数が、5,000件を突破
- ◆ 金融機関の提携社数は144社に達し、地方銀行、大手証券をほぼ網羅
- ◆ ネットワークの拡大とともにクロスセルの可能なネットワークをさらに強化

◇ 会計事務所契約件数



ご参考



(単位：億円)

	2019年9月期 第2四半期(累計)	2020年9月期 第2四半期(累計)	対前年 同期比増減
売上高	112.5	82.9	▲26.3%
①売上原価	20.2	21.0	+3.7%
売上総利益	92.2	61.9	▲32.9%
販売費・一般管理費	30.4	30.6	+0.7%
営業利益	61.8	31.3	▲49.4%
②営業外収益	6.6	12.3	+83.9%
③営業外費用	11.7	11.4	▲2.7%
経常利益	56.7	32.1	▲43.3%
税引前純利益	56.3	32.0	▲43.2%
法人税等合計	17.1	9.6	▲43.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	39.3	22.1	▲43.7%

- ①売上原価：顧客紹介者への支払手数料、リースアレンジメント事業の案件組成コスト、販売用航空機の商品出資金評価損を含む
 ②営業外収益：一時的に立替えた出資金を投資家に販売する際に徴収する立替利息を受取利息として含む
 ③営業外費用：資金調達に伴う支払利息、JOL案件に伴うドル調達の支払利息を含む

貸借対照表の概要

(単位：億円)

資産	2019年9月期	2020年9月期 第2四半期	対前期増減
流動資産	1,210.9	1,364.7	+153.7
①商品出資金	754.3	540.6	▲213.7
②金銭の信託(組成用航空機)	191.0	337.8	+146.7
③販売用航空機	0.0	166.6	+166.6
④組成用不動産	33.7	0.2	▲33.5
固定資産	47.4	50.8	+3.4
資産合計	1,258.3	1,415.6	+157.2
	2019年9月期	2020年9月期 第2四半期	対前期増減
流動負債	824.0	862.6	+38.6
短期借入金等	658.9	747.5	+88.6
⑤前受金	97.9	66.8	▲31.0
固定負債	104.5	247.8	+143.3
長期借入金等	101.8	244.0	+142.1
負債合計	928.5	1,110.4	+181.9
純資産合計	329.8	305.1	▲24.7
負債純資産合計	1,258.3	1,415.6	+157.2

- ①商品出資金：リースアレンジメント事業で当社が投資家に販売するまで一時的に立替えている出資金
 ②金銭の信託(組成用航空機)：航空機リース案件に係る信託受益権の在庫
 ③販売用航空機：Air Mauritiusを賃借人とするオペレーティングリース案件のためにSPCが保有する航空機
 ④組成用不動産：不動産小口化商品の在庫
 ⑤前受金：リースアレンジメント事業に係る手数料の前受金を含む



※1
JPX日経インデックス400



2019 Constituent
MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダース指数

**MSCIジャパンESG
セレクト・リーダース指数(評価:A)** ※2



**S&P/JPX カーボン・
エフィシエント指数**

※1 2020年5月現在

※2 THE INCLUSION OF Financial Products Group Co., Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Financial Products Group Co., Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 F P G 経営企画部

TEL : (03) 5288-5691

E-mail : ir@fpg.jp

URL : <https://www.fpg.jp>